

車座トーク（松永） 概要

開催日時：2025年（令和7年）2月6日（木） 19時00分～20時30分

開催場所：ニチエー会館

参加者数：14人

次 第：開会・参加者紹介

意見交換

まとめの挨拶

写真撮影・閉会

【意見交換の概要】

参加者からの主な意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・松永駅北口にある福山大学M亭を活動拠点に、福山大学プロジェクトMに参画する学生有志と、福山市や尾道市の高校生・大学生と協力してマルシェなどイベントを行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの松永をどんな地域にしたいか考えるとき、未来を担う学生の思いを重視することは重要。 ・松永は、地域貢献を意識している学生・大学の先生がいる恵まれた地域である。 ・M亭ではこれまでも様々な議論をし、取組をされているが、イベント中心の印象を受けている。 ・これは市も同じ課題を持っているが、イベントから常に取組が継続をしているものに変えていく必要がある。 ・何を日常の取組として行っていくのかということもあわせて考えながら、是非、実践してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・松永駅北口のシャッター街を開けるために、空き店舗等を活用した政策を提言したい。 <ul style="list-style-type: none"> ①空き店舗を活用したカフェ ②100円ショップなどの便利な小売店 ③モバイルオーダーの受取店など ・若者をターゲットにした店があると、学生や子育て層の増加により、活性化につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松永の活性化をどこから着手するか議論を集約するといいと思う。 ・皆さんの議論で視点を出していただき、自ら行うこと、行政とともに行うことを分け、まずは松永駅北口の何に着手するか、議論を集約していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・松永駅北口はきちんと開発しないといけない。開発が進めば福山大学にも寄ってくると思うが、福山大学のある東村町は市街化調整区域になっている。 調整区域を外すことができれば、福山大学と松永駅北口の双方から活性化できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、農地を守り、住居や活動を集約するなど、効率的なまちづくりを行うため市街化調整区域内での開発を一律的に抑制してきた。 地域性に配慮した取組につなげるため、昨年4月から規制緩和を行い、産業用地として工場などの建築を許可している。

参加者からの主な意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・松永駅北口・南口でイベントを実施してきた。最初は学生のアイデアだったが、いろいろな方に協力いただき実現できた。こうした学生のアイデアを行政の施策等に反映していただきたい。 ・本年4月から、松永の学生を対象に、学生のための、学生が発言する未来会議を作り、10年後の未来に向けて、まずは1年かけてできることをやっていきたい。 ・個人の取組に留まらないように、関わる人が増えて欲しい。イベントや交流がやりやすいような仕組みがあると嬉しい。 ・まつながハロウィンのイベントでは、1万人近く来場いただいたが、日常的に人の通りがない。また、イベントの際、駐車場がなく車での来場者が苦勞されたことがあった。 ・今後継続的なにぎわいを作っていく、人が訪れてもらえるためには、駐車場や道の整理も必要だと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでもいろんな場所で地域づくりをされ、行動・実践の第一歩を記していただきとても心強い。是非、その一歩を継続的に取り組むことも意識しながら考えて欲しい。 ・駐車場整備など大掛かりなことをする前に、まず人の流れを呼び込み、人が来るから、整備をするという順番になっても良い。 ・福山駅前再生で、どのように官民が一緒になった取組を展開したのか、参考にさせていただけたらと思う。 ・福山駅前再生で、いろいろな事業者を外から連れてきた人をお願いをして、例えば松永駅の北口の空き店舗を利用してドーナツ店ができれば、学生が集まり、これはビジネスチャンスがあるじゃないかということで、次のお店の開店につながる。こういう、まずは1つ突破口を開くということもあっていいのでは。
<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーデイズというイベントを、以前はニチエー会館を借りて開催していたが、現在は松永の大切な財産であるはきもの資料館で開催。芸術家の岡本太郎さんの作品「あしあと」やこいのぼりがある。また広島県最初の有形文化財である旧マルヤマ商店事務所もあり、みんなにもっと知ってほしい。 ・松永駅北口で飲食店をしているが、コロナ禍を経て年配の方のお話を伺い、電子機器の急速な発達によりつながりが薄れ「もう自分たちが世の中に必要とされていないのではないかと感じる」といった悲しい声をたくさん受け止めてきた。 その中で、本郷や東村、藤江などから来られる方は車が手放せない。コロナ禍のバス廃止により、移動が難しい。交流館などで楽しい寄合やイベントはあるが、そういうところに行けない人が、不安な時に話ができる場所になりたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本当にできることを精一杯やっていたいている。そういう思いは必ず多くの人の共感に繋がって、取組をサポートされる方、或いは一緒になってやろうという方が増えてくると思う。 ・はきもの資料館は福山が誇る施設。ぜひ大勢の方に見ていただくよう、利用幅を広げることが重要だと思っている。旧マルヤマ商店事務所は、現在、地域の方に管理をお願いしているが、松永地域振興課が橋渡しをして、新たな活用について調整していきたい。

参加者からの主な意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの有志により松永駅北口にある老朽化したアーケードを撤去している。 ・アーケードを設置した商店街組合は解散したが、新たな組織を立ち上げ代表をしている。 ・きっかけとしては、10年前に商店街の中に引っ越してきて、商店街の何店舗かを購入し、現在2店舗、飲食店と床屋を誘致した。 ・これからの活動としては、30～40年前くらいまで商店街で開催されていた夜店を今年復活させ、商店街のにぎわい再生ということで進めたい。まつながハロウィンも商店街で実施したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アーケード撤去は、関係者の調整が必要で大変難しいと思うが、行政も一緒になって相談に乗らせていただく。 ・夜店について、福山駅前商店街で行っている「福山毎土夜店」も、1回の単発イベントから、3か月間毎週行うイベントに成長。商店街の皆さんも手ごたえを感じており、継続して実施することに意味があると思う。 ・道路の占用についてのご相談については、松永支所でしっかり対応していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・10年前に障がい者就労支援、多機能型の就労支援を立ち上げた。障がいの方は地域の方と接する機会が少なく、交流できる場所が必要と感じている。 ・障がいのある方と接する機会を作り、もっと身近に感じ、理解してもらい、共生社会の実現に向け福山市の新しい支援モデルとして、関わりながらできたらと思っている。 ・北口のシャッター街もそうだが、街中でトイレや休憩所などのインフラ整備が必要であると考えており、まちづくりと一緒に進めていければと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会のモデルをつくるという高い志で、障がい者の皆さん方のサポートをしていただいている。 ・障がい者の方々が、趣味を楽しむ、そんな場をつくっていくというのも一つあると思う。 ・福祉の対象だけではなくて、自立する障がい者という思いを大勢の皆さんに持ってもらえただけると、強い障がい者の方が、健常者と一緒に活躍できる、そんな時代につながっていくと思う。ぜひ我々もサポートさせていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方の支援を、松永を中心に行っている。 ・何かするには柱がある。自分たちは、音楽とスポーツを通じてまちを明るく元気にしたい。感動を共感するのは素晴らしい。 ・子どもや障がい者など弱い立場の方が気軽に集まれる場というのは、誰にとっても非常に楽な場所。そういった場所を積極的に作っていききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽とスポーツを通じた地域活性化に、いろいろとご尽力いただいている。 ・私も音楽の力、スポーツの力の大きさを実感しており、ばらのまち福山国際音楽祭へ市内の全小学5年生を招待するなど取組を行っている。 ・そういう本物に触れた、あるいは音楽に接した子どもたちは、必ず、豊かな心が芽生え、大人になったら、他人に対して優しく、自分の子どもにも本物を聞かせてやりたいと思う、そういう循環を福山市は作っていききたいと思っている。 ・昨年、障がい者の人たちが楽しめるスポーツ、インクルーシブ・スポーツを、福山で開催した。

参加者からの主な意見	市長コメント
	<ul style="list-style-type: none"> こうした取組を通じて、健常者と障がい者が、同じスポーツを楽しむ時代に入っていくのだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 松永をはじめ、放課後児童クラブの預かり延長が実施され始めている。市内全域に広がってほしい。 その反面、子育て当事者からは、預かってくれる時間が増えたからどんどん仕事をするのではなく、早く帰りたいと思っている。職場の方が定時を早めるなど、福山市の施策やシステムがあれば良い。 母とこどもの居場所について、松永駅周辺に子どもたちの待つ場所、学習するスペースが足りない。 エフピコアリーナにあるような大型遊具を松永に作っていただきたいという声がある。さらに、室内の遊び場もあればありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 福山市は共働きや、子育てにやさしい事業者を増やしていく取組をしている。グリーンな企業プラットフォームに参加し、支援策を使ってもらうことで、働きやすい職場環境づくりについて事業者の理解を得ていきたい。 母とこどもの居場所については、新年度、交流館6館に屋内遊具を設置し、個人で自由に利用していただく。 交流館の地元利用者等と調整し、ご理解をいただいた地域から、屋内遊具を順次設置していく。
<ul style="list-style-type: none"> 長年、松永地域で銭湯を経営。高齢者やファミリー層だけではなく、学生など若い人も来てくれる。「古きよき文化」が若者に新鮮だったのではないかと考える。 豪雨災害の際、銭湯を無料開放したが、尾道市からも含め1,000人/日ほど来られ、必要な存在だと感じた。松永に銭湯を残していきたい。 市公式LINEのような、アプリやSNSなどで松永地域の誰もが登録できて、情報を共有できるシステムがあればいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 銭湯が、世代を超えた居場所として価値が再認識されているため、若者が集まるようになったのだと思う。 「松永を盛り上げる会」という市民団体を立ち上げたと聞いた。立ち上げの支援策があるため、松永地域振興課に聞いていただいて、支援策を使いながら「松永を盛り上げる会」を大きくしてほしい。 地域で情報共有できるシステムについては、松永地域振興課にご相談いただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 車座トークの前に、地域の方へ要望等を聞いてみたが特段意見はなく、現状あまり不便に感じてはいないのだと思う。 松永駅前個人個人で活動し、良い関係性をつくっているが、団体としての意識が少ないように感じる。例えば、自治会で行っている公園の清掃を引き受ける人はなくなったが、個人でボランティアを行っている人もいる。 居場所づくりは、お店に来た人の話を聞くなど、事業者にも担うことができるのではない 	<ul style="list-style-type: none"> 松永駅前の地権者の皆様が、シャッター街になっていることは分かっているが別に今のままでいいと思っている、難しい状況にあることが分かった。 みんなでこの松永駅北口ににぎわいを取り戻そうという思いになっていただくことで、地権者の方が、店舗を利用したいという方へ安く貸し出す取組につながれば良いと思う。 福山駅前再生でも、地権者の理解を得られず取組が進まなかったが、現在は20件近くの空き店舗を貸し出して、新たなテナントが

参加者からの主な意見	市長コメント
<p>かと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会館は会員が中心に使う建物だが、非自治会員にも貸し出すことで居場所づくりとして使えるようになるのではないかと感じた。 	<p>入ってきた。1つでも2つでも、取組が進めばいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園清掃の担い手がなくなったことは、地域コミュニティの危機かもしれない。自治会とにぎわいを取り戻したい人たちの思いを1つにまとめられれば地権者の思いも変わってくる。 引き続き松永未来会議でみんなの協力を取り次ぎながら頑張っていければ。
<ul style="list-style-type: none"> 松永駅周辺には空き店舗が多い。リノベーションや家賃に対する補助があれば、借りる側が一步を踏み出しやすいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 厳しい言い方かもしれないが、補助金に頼る事業は長続きしないため、福山駅前再生の取組では空き店舗でのビジネスに対して補助金は出していない。 その代わりに、極めて金利を優遇された融資制度を銀行に作ってもらった。
<ul style="list-style-type: none"> スーパーを経営している。コミュニティの場やみんなが集える場所、憩いの場所というキーワードは、お店が担う一番大事なポイントだと思う。どんなものがあったら喜ばれるか検討しながら店づくりを行っている。 スーパーの店舗や地域コミュニティの場として貸出している会館を、みなさんの意見を取り入れながら改修するなど、何か実現できる方法はないか計画を練っている。 駅前府中線が開通したが、合流地点に信号があればもっと使いやすくなるし、同時に交通渋滞が緩和されると思う。 松永駅北口から商店街前の道路を拡張することで見栄えが変わり、空き家対策など活性化が一気に進むのではないか。 駅前府中線に、園児や学生、地域の皆さんで植樹をすると、自分が植えた木が気になって、未来に向けて楽しみが持ってもらえるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の発展のために汗をかいていただけのことに感謝。 スーパーの店舗改修で、コワーキングスペースなど様々な人が集う空間を作る検討をされているとお話いただいた。福山駅前ではエフピコRiMをiti SETOUCHIとして再生し、新たな福山駅周辺のにぎわいの拠点になろうとしている。飲食店等の事業者や、地域の方や学生が使う居場所など様々な機能が集まり、土日には定期的にイベントが開かれ大勢の人が集まっている。iti SETOUCHIのコンセプトも参考にしていきたい。 信号設置については、自治会等地域住民の総意として警察に届けるプロセスとなる。 駅前府中線が活用されていないことについては、松永駅周辺に魅力あるものが少ないから車や人が通らないということだと思う。松永駅北口のにぎわい再生と一緒に取組を進めていく。 様々なアイデアをいただいた。共通しているのは、景色を変えたい。景色を変えれば気持ちも変わる。気持ちが変われば人が集まる。人が集まればにぎわいが生まれてくるということだと思う。

参加者からの主な意見	市長コメント
	<ul style="list-style-type: none"> 植樹のアイデアは、確かに緑が少なく寂しい。松永支所と一緒に頑張っていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 駅前府中線の合流地点へ信号が設置されれば、大学のバスも通りやすくなり、乗降場所が増えれば人通りが増えるのではないか。 駅前府中線の道路沿いを住居地域から商業地域へ変え、高さのある建物を建てることのできるようになれば。 松永地域に工業団地をつくり、大手企業やその支店が入るといい。 	<ul style="list-style-type: none"> 信号設置については、自治会等地域住民の総意として警察に届けるプロセスとなる。 産業団地の必要性について、今すでに新たな産業団地の候補、選出、選定するための調査に入っている。

【まとめの挨拶】

○市長

- 様々なご意見をいただき感謝。
- 松永駅周辺活性化協議会や松永未来会議でも、活発な意見が行われていることを感じた。
- これから、地域の拠点づくりに向けた戦略策定の段階に入る。今年度3月末までには戦略の骨子を提示する。
- 未来会議や協議会で議論をより整理して、戦略策定にご提言をいただきたい。皆さんの提言を受けて、戦略に意見を反映させながら作っていく。